

概要

■目的

本地区の基幹的な農業水利施設は、国営阿賀野川用水土地改良事業（昭和36年度～昭和58年度）にで造成されたが、経年的な施設の劣化により用水路等においてはコンクリート構造物のひび割れ、揚水機においては錆や油漏れが発生しているほか、営農状況の変化による水需要の変化に対応した用水管理が生じているなど、農業用水の安定供給に支障を来しているとともに、施設の維持管理及びほ場の水管理作業に多大な費用と労力を要している。

このため、本事業では農業水利施設の老朽化対策、水利システムの再編、用水の再編及び耐震化のための整備を一体的に行い、併せて関連事業で区画整理等を実施することにより、農業用水の安定供給、維持管理の費用と労力の軽減、水管理の合理化及び農地集積の促進を図り、農業生産性の向上及び農業構造の改善に資するものである。

■概要

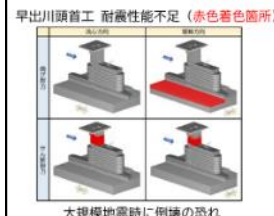
関係市	にいがたし 新潟県新潟市、五泉市、阿賀野市
事業工期	ごせんし 令和8年度～令和26年度
総事業費	あがのし 380億円
受益面積	4,840ha
事業構想	早出川頭首工（改修） 1か所
	揚水機場（改修） 6か所
	用水路（新設・改修） 41.9km
	水管理施設（改修） 1 式

地区の課題

施設の劣化・水需要の変化とともに維持管理・水管理作業による費用と労力の増加

■早出川頭首工耐震照査

◆古い施設は大規模地震が発生した際、倒壊する危険がある
早出川頭首工 耐震性能不足（赤色箇所）



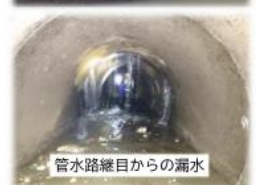
夏季に早出川の河川自流が減少するなど、用水不足が発生しているため、幹線水路輪灌かんがいが行われている。

規模の小さなポンプ場が多く、加えて必要量以上の取水が発生し、電力消費や維持管理コストが課題。

下流部では、用水量の不足時にブロック輪灌かんがいが行われている。



◆整備後40年以上が経過し、施設が傷んでいる。

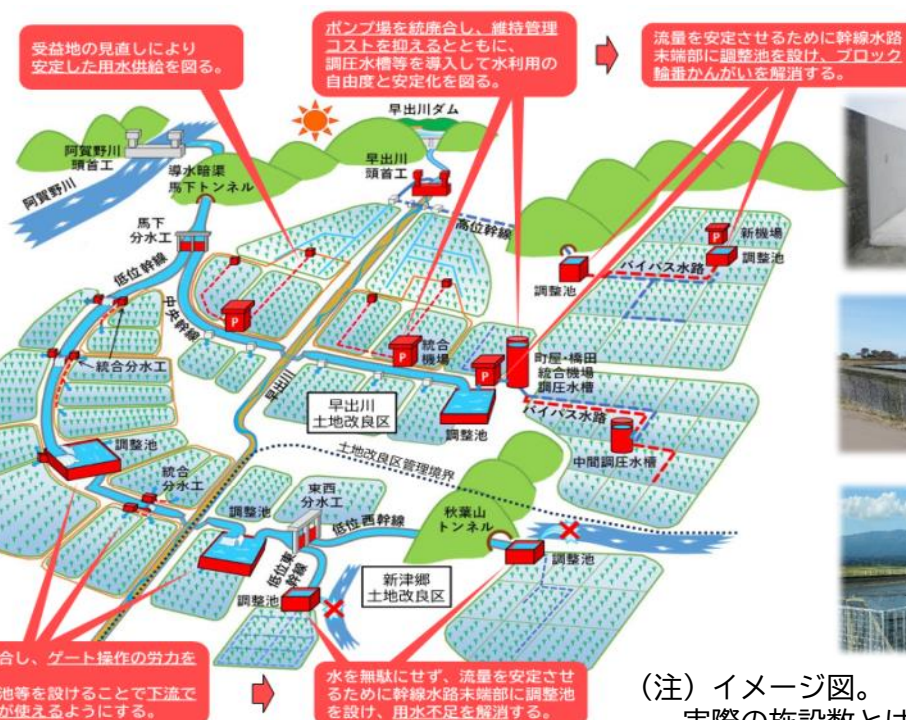
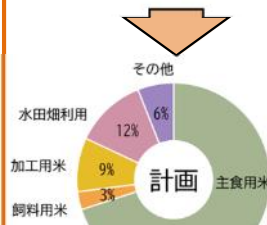


幹線水路からの直接分水工が大量に存在し、ゲート操作の労力が大きい。また下流部では幹線水路の用水到達遅れが発生。

幹線水路末端では必要な時に水が足りなかったり、不要時に水が供給されて排水路に捨てざるを得なかったりすることが頻発する。

事業の効果

農業用水の安定供給による農業生産性の向上と農業構造の改善

営農計画
(多様な米づくりと水田畑利用)

受益地の見直しにより安定した用水供給を図る。

ポンプ場を統廃合し、維持管理コストを抑えるとともに、調圧水槽等を導入して水利用の自由度と安定化を図る。

流量を安定させるために幹線水路末端部に調整池を設け、ブロック輪灌かんがいを解消する。



分水工を統廃合し、ゲート操作の労力を低減する。加えて、調整池等を設けることで下流でも安定的に水が使えるようにする。

水を無駄にせず、流量を安定させるために幹線水路末端部に調整池を設け、用水不足を解消する。

(注) イメージ図。
実際の施設数とは異なります。

